

学校研究について

1. 研究主題

「自ら考え、ともに学び合う児童をめざして」

副題

～子どもが主体的に学び合う算数科の授業をめざして～

2. 研究主題の設定

本校では、昨年度まで「学び合う、心豊かな児童の育成をめざして」を研究主題として、「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に研究をし、自ら課題を見つける力、多様な方法で発信する力をつけてきたが、教科学習でも力をつけていく必要を感じた。

本年度からは、よりいっそうの学力の向上、確かな学力の定着を願って、「算数科」の研究を進めていくことにした。

本校は小規模校であり、小さいときから同じ集団で育ってきており仲がよい反面、なれ合いがあり、自分の意見を積極的に表現する態度や、友達の意見を聞いてさらによりよくしていこうとする態度が不足している。また、既習事項を応用して新しい課題を解決していく力も不十分である。今後複式学級がさらに増えていくことも予想される。そこで、自分の考えが持ちやすい、発表しやすい「算数科」で、自学する態度を育成し、自ら考えることの楽しさ、ともに学び合うことの喜びを子どもたちが実感できる算数科の授業をめざして研究を進めていきたい。

3. 研究の内容

「自ら考える力」を育てる教材
開発・教材研究

- ・課題提示、授業展開の工夫
- ・個に応じた力をつける補充・発展教材の導入

学習環境の工夫

- ・教材・教具の開発と保管
- ・学習室の整備
- ・基礎学力調査の分析
- ・各教室に学び方を書いた算数カードを掲示

家庭学習の充実

- ・家庭学習の手引きの作成
- ・ノート展覧会

「ともに学び合う」学習の実現

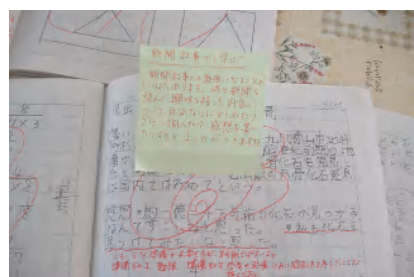
- ・算数的表現（言語・図・式・操作）の力の育成
- ・学び合う場の設定
- ・効果的なまとめ、共有化

指導と評価の一体

- ・評価方法の工夫と授業改善

パワーアップタイムの継続と充実

- ・算数分野別での自学用プリント作成
- ・読書タイムの継続
- ・100マス計算



現在までの取り組み

- ・授業研究 6年「比べ方を考えよう」
1年「10より大きい数」
2年「かたちをつくろう」
4年「共通部分に目をつけて」
3年「間の数に目をつけて」

☆題意をとらえやすくするための工夫

- ・1文ずつ切って読んで理解させる。
- ・問題文の途中でわかっていることを整理させ、イメージしやすくする。

☆自力解決するために

- ・いろいろなやり方を提示してやることで、わからない子も自力解決できる。
- ・式に単位をつける。
- ・操作活動を入れて。

☆学び合いになるために

- ・教師が机間指導の時、子どもたちがどんな考えを持っているか把握し、その後の学びの流れを組み立てることが大切。

☆ことばの吟味

- ・課題をどう提示するとわかりやすいか、どう投げかけるのが効果的か、ていねいに検討していく。